

2025 Spring

母校通信

"Mastery for Service"

155号



巻頭企画

強固な同窓会

27万人の同窓生とともに築く、
未来への架け橋

読者プレゼントのお知らせ！

詳細・応募は本誌1ページ目をご覧ください



関西学院同窓会

強固な同窓会

27万人の同窓生とともに築く、未来への架け橋

2024年4月に就任した
亀岡剛会長のもと関西学院同
窓会は新たな体制でスタート
をきりました。前号(母校通信
154号)の巻頭企画では、長年
の企業経験を活かし、母校への恩返
しと未来への貢献を志す亀岡会長と竹
本会長代理の対談を取り上げ、関西学院
が直面する厳しい現状と、その中で求め
られる同窓会のあり方について熱く
語っていただきました。少子化や公立大
学の無償化が進む中、私立大学はかつて
ない競争の時代を迎えています。こうし
た環境の中で母校が輝き続けるため
には、同窓生一人ひとりの力が不可欠で
す。今号では、同窓会本部や支部活動の
取組みを紹介し、「Mastery for
Service」の理念を実践しながら母校に
貢献する同窓会の姿をお伝えします。



母校通信154号 巻頭企画

亀岡会長と竹本会長代理が今後の同窓会
について熱く語った対談を
ご覧いただけます。



同窓会ってなに？

世代を超えて世界中に広がる心強いつながり

強固な同窓会とは、同窓生一人ひとりの力を結集し、母校と同窓生の未来を共に支えるネットワークです。同窓会は現在、国内・海外も合わせ27万人を超える会員で構成されています。スクールモットーである「Mastery for Service」の理念を社会で実践し、かつ会員相互が世代を超えた交流と親睦を通して自己を豊かに成長させ、互いの活動を励ましあうとともに、後輩を応援し、母校の益々の発展を物心両面から支えています。本部には国内89支部、海外29支部の地域支部をはじめ、社会の各分野で活躍するさまざまな同窓が、業界・職域・学部学科・クラブ・サークル・ゼミなどを基盤とした127もの公認団体を組織して多様な活動を展開しています。

国内 **89** 支部
公認団体 **127** 団体

海外 **29** 支部

※各支部・公認団体の一覧をP.10-12に掲載しております。

同窓生
男女比率



各種サービス

全同窓向け

・母校通信 ・関学カード

支部への支援

・支部活性化支援制度

公認団体・全同窓への支援

・学院近況資料、
同窓会ガイドブックの送付



同窓会の組織

正副会長会・常任理事会・
理事会・評議員会

新年度の事業計画や予算案の審議・決定および前年度の事業報告や決算報告、同窓会規約の審議など活発な議論が行われています。

理事会 3月、7月、11月

評議員会 3月、7月、12月

分科委員会

関西学院同窓会では、同窓会活動に関する様々な課題に対する取り組みや、同窓生のニーズの実現に向け、7つの分科委員会を設置しています。各分科委員会は、それぞれ10名前後の委員(同窓生)で構成され、各委員会で活発な議論を展開し、同窓会活動をサポートしています。

総務委員会

同窓会規約の立案・作成、
各種文書立案 他

財務委員会

同窓会財務に関する
計画・立案・執行・財産管理

組織委員会

支部組織等の拡大・充実・
組織強化に関する事業

編集委員会

母校通信の編集・発行

企画委員会

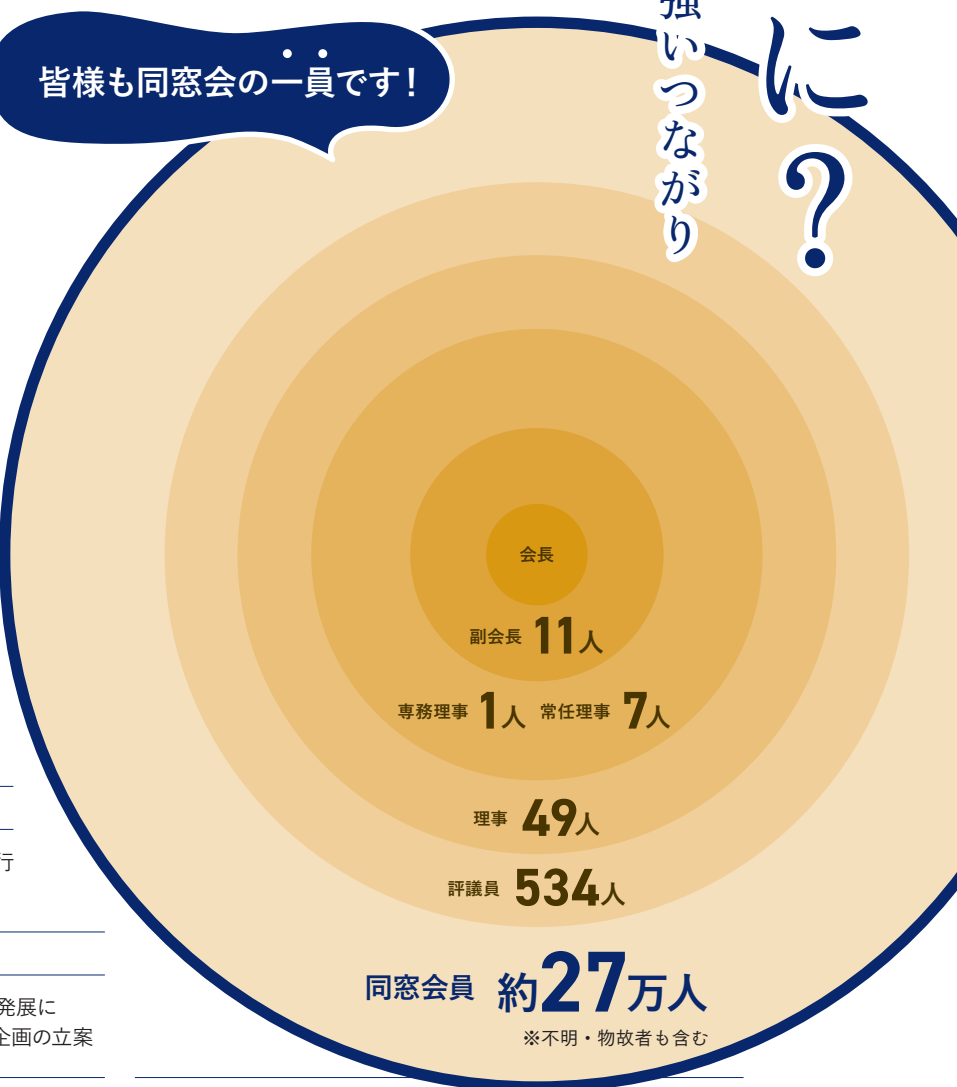
同窓会活動の健全な発展に
寄与するための各種企画の立案

次世代委員会

若年層を対象としたネットワー
クづくりや各種企画の立案

人事委員会

同窓会評議員及び同窓会理事、同窓会役員の選任のための推薦
を委ねる選考委員の選任



1 マス터리・フォア・サービスの理念を社会で実践する

27万人の同窓生の中には関西学院や社会の中で培った経験や知識を活かし、社会へ貢献等を通じて“Mastery for Service”を実践されている方が多くいらっしゃいます。支部や同窓の活躍を知ることで、あなたにとっての“Mastery for Service”とは何かを考えるきっかけになればと思います。共に学び、支え合い、未来へとつながる一歩を踏み出しましょう。

あなたにとっての
“Mastery for Service”
とは？



西宮支部 能登半島地震 ボランティア活動

第1回	日程	2024年2月22日～25日	活動概要	炊き出し	たこ焼き800食、ぜんざい280食、甘酒460食(いずれも2回計)
	場所	石川県七尾市・珠洲市・内灘町		支援物資	衣装ケース56セット、除湿乾燥機1台、布団1セット
第2回	参加者	14名(内 学生4名)		その他	珠洲市個人宅の片付け、出張輪島朝市の活動支援
	日程	2024年6月6日～9日			
第2回	場所	石川県輪島市・珠洲市・能登町			
	参加者	14名(内 学生4名)			

西宮支部(薄井 修司支部長1982大文)は、2024年1月1日に発生した能登半島地震に対し、近隣支部や現役学生も交え、被災地へ2回の炊き出しと物資の搬入等のボランティア活動を実施しました。

西宮支部は支部会員から寄付を募り活動を行い、阪神淡路大震災の経験を踏まえながら、被災された方々は何か必要か、支部内で話し合いを重ね活動しました。

活動終了後、薄井支部長は「被災された方々が必要とされている物資を少しでも届けられたことを嬉しく思います。今回、我々の活動はほんの小さなものですが、被災地の皆さんにとって応援してくれる人がいることは励みになると感じました。関西学院同窓会西宮支部として、関西学院らしい同窓会活動ができて良かった」と述べました。

宝塚支部 登下校サポート活動



2008年4月、宝塚市内中心部に関西学院初等部が開校し、最寄りの宝塚支部は初等部児童たちに声掛けをしながら、登下校の見守り活動をスタートしました。

翌年には初等部PTAより「スカイレンジャーズ」のニックネームとスクールカラーのブルーに校章の入ったお揃いのジャンパーをいただき、宝塚支部活動の中心となりました(現在は活動停止)。また、このような活動が全国の同窓生でも広がりを見せました。

佐賀支部 有明海の清掃活動



こちらもKGブルーのTシャツを揃え、心ひとつに地元有明海の清掃活動を展開しています。

普段、支部活動に参加が少ない若手の卒業生や、お子様連れのご家族で参加される同窓も多く、たまたま通りがかったご家族がKGのお揃いTシャツを見て「私も関西学院出身です」とお声がけがありました。

また、近隣支部の福岡支部でも、KGピーチクリーンと称して長垂海浜公園横の砂浜清掃活動を行っています。

同窓会の目的

1 マス터리・フォア・サービスの理念を社会で実践する

2 会員相互の研さんと親睦をはかる

3 母校の発展に寄与する

これら3つの目的の下に各支部では様々な活動や交流がなされており、そういった情報を全国の支部や同窓生にお届けし、同窓会活動の輪を広げていくことは同窓会本部の役割の一つでもあります。多岐にわたる各地の同窓会活動を次のページからご紹介します。

同窓会活動って なにしている？

TOPICS

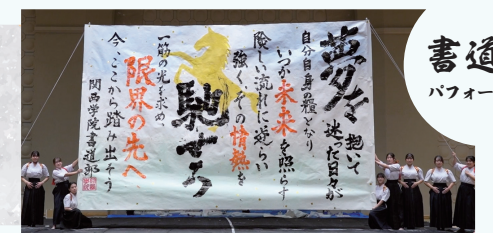
国内支部長会



2024年11月24日と25日の二日間に亘って開催。初日は西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂にて亀岡会長の基調講演会を聞き、同窓会の進むべき方向や活動の課題や目的などを確認しました。その後は場所を西宮北口に移し、懇親会を実施。同窓会にまつわるクイズ大会や、エリア毎の支部長で集まり、支部間のつながりを強固にし、支部単独では出来ない複数支部でのイベント計画を進めました。二日目は初めて会場を関西学院大学大阪梅田キャンパスで開催。午前中は同窓会の3つの目的に沿った支部活動を発表。出席した支部長は熱心に発表を聞き、昼食会ではエリア別に支部間の協力体制を確認しました。午後からは複数支部や小規模支部の活動を紹介。全国の支部長が一堂に集まる会議は他大学の同窓会でも珍しく、関西学院同窓会らしい活動のひとつでもあります。「他支部の活動事例が分かり良かった。ぜひ、支部に持ち帰り、出来る事を実践したい」などの感想がありました。

2024年11月24日と25日の二日間に亘って開催。初日は西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂にて亀岡会長の基調講演会を聞き、同窓会の進むべき方向や活動の課題や目的などを確認しました。その後は場所を西宮北口に移し、懇親会を実施。同窓会にまつわるクイズ大会や、エリア毎の支部長で集まり、支部間のつながりを強固にし、支部単独では出来ない複数支部でのイベント計画を進めました。二日目は初めて会場を関西学院大学大阪梅田キャンパスで開催。午前中は同窓会の3つの目的に沿った支部活動を発表。出席した支部長は熱心に発表を聞き、昼食会ではエリア別に支部間の協力体制を確認しました。午後からは複数支部や小規模支部の活動を紹介。全国の支部長が一堂に集まる会議は他大学の同窓会でも珍しく、関西学院同窓会らしい活動のひとつでもあります。「他支部の活動事例が分かり良かった。ぜひ、支部に持ち帰り、出来る事を実践したい」などの感想がありました。

中央講堂で行われた支部長会に、関西学院大学文化総部書道部を招き、今年度の書道部テーマ「夢を馳せろ」を披露いただきました。書道部の力強いパフォーマンスで舞台いっぱいに広がる大きな紙面に、出席された支部長から大きな拍手と歓声があがりました。

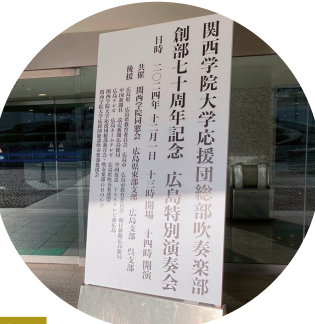


書道部
パフォーマンス

3 母校の発展に寄与する

同窓会にとって、現役学生の支援も重要な役割のひとつです。全国各地の支部では、学生たちが地域で活動する際の受け入れ体制を整え、応援や広報活動を通じて、母校の発展に寄与する取り組みを展開しています。たとえば、地域でのボランティア活動の受け入れ、ファミリーイベント、講演会や交流イベントの開催など、同窓会本部をはじめ各支部も独自の支援を行っています。こうした活動を通じて、現役生が同窓生とつながる機会を増やし、社会へ羽ばたくための後押しすることができます。そして、同窓会の活動が地域社会にも広く知られることで、関西学院のブランド力向上にもつながっていきます。同窓生が支える温かいネットワークが、学生たちにとって心強い支えとなり、母校と同窓生、そして地域が一体となって発展していくことができるのです。

未来をつなぐ、
現役生サポート



呉支部

呉レジェンドマッチ

昨年11月に呉支部の設立60周年記念事業として関西学院高等部野球部を招き、地元の高校野球部との招待試合を実施しました。

長野県支部

関西学院交響楽団が五嶋龍と共演

2017年に世界的なヴァイオリニストの五嶋龍を招聘して関西学院交響楽団との共演が実現しました。

島根支部

出雲駅伝の沿道応援

関学大陸上競技部が出雲全日本大学選抜駅伝競走に出場した時、レース前日からコース沿道に関西学院の幟を設置します。

広島支部

広島特別演奏会

昨年12月に関西学院大学応援団総部吹奏楽部の創部70周年記念広島特別演奏会を共催しました。

高槻・島本支部

高槻コンサート

昨年12月に関西学院グリーンクラブ高槻演奏会を開催。今回が30回目の開催となり、地元市民の皆様にも恒例の演奏会となっています。

京阪West支部

田植え実習

毎年6月に初等部5年生の田植え実習で植えた稲を支部で大切に育てています。11月に収穫したお米を子供たちに届けています。

2 会員相互の研さんと親睦をはかる

国内外の各支部では、同窓同士のつながりを深める懇親活動が活発に行われています。旧友との再会や新たな出会いを楽しみながら、母校の絆を再確認できる場となっています。しかし、同窓会の目的はそれだけではありません。“Mastery for Service”の精神のもと、自己研さんを重ねる場を作っていくことも大きな役割のひとつです。各地の支部では、業界ごとの勉強会や講演会など、学びの機会を提供する取り組みが広がっています。同窓生が互いに刺激を受け、知識や経験を共有することで、新たな成長のきっかけを得ることができるのです。親睦と研さんは、決して別々のものではなく、より充実した人生を築いていくための両輪です。こういった活動への参加を通じて、学ぶ喜びを一緒に分かち合いましょう。

親睦を深め、
共に学び続ける場

東京支部 次世代開発シニアマネジメント塾



コロナ禍であった2021年よりシニアマネジメント層の同窓生(45歳～60歳)に対し、経営者への研さんの場と異業種交流会を目的とした次世代開発シニアマネジメント塾を開塾。2024年度で第4期塾生を輩出しています。

その他にも、海外各支部とのWEB交流イベント、グローバルミーティングを立ち上げ、これまでにインドネシア支部やハノイ支部などと開催し、現地から見た経済の実情、日本企業のビジネス事情や駐在員の生活事情等々のテーマで意見交換を展開。東京支部として地域の特性を活かし、かつ他支部も参加できるようなイベントを実施しています。

シアトル支部・バンクーバー支部 KG Terakoya(寺子屋)



コロナ禍であった2020年にシアトル支部とバンクーバー支部が合同でKG Terakoyaを開催。KG Terakoyaとは、North America在住の同窓生を対象として異国での生活情報・専門・ビジネス経験等を意見交換し、個々人の成長につなげるためのプラットフォームとして、シアトル支部、バンクーバー支部のみならず、サンフランシスコ・シリコンバレー支部やロサンゼルス、ニューヨーク在住の同窓生も参加して、オンライン上での活動を展開しています。

富士山支部 知識研究会



2014年から支部内でパソコン・スマホ教室を開催。その後、KGパソコンサークルとしての活動を経て現在は知識研究会として、富士山支部会員に限らず活動を展開しています。現在は、海外からのオンライン参加も含め、11名の構成メンバーで活動。年会費を設け、研究費やソフト・機器購入、サーバー維持費などの運営費に充てられます。また、関西学院サポーター制度への寄付や、富士山支部年会費の無償化、支部間交流のイベントを行い、ITの普及、各支部のIT技術の支援にもつながっています。

学院による同窓生に向けた取り組み

大学図書館の利用

学校法人関西学院の各学校を卒業・修了された方は、大学図書館(上ヶ原キャンパス・聖和キャンパス・三田キャンパス)をご利用頂けます。皆さまの研さんの場としてもぜひ大学図書館をご活用ください。ご利用方法などの詳細は図書館ホームページをご参照ください。



HP

世代を越えた学び

関西学院では生涯学習・社会人講座のプログラムを用意しています。生涯にわたって学び続ける同窓生に学びの場を提供しますのでぜひご利用ください。



HP

生涯のネットワークとしての

同窓会は卒業後も続く一生のつながりで、学生時代の友人との交流だけでなく、世代を越えた新たな学びや挑戦の場です。近年、若い世代向けのキャリアに役立つ企画や社会貢献活動などのイベントが増え、幅広い世代が集い自己成長できる場となっています。あなたもぜひ、同窓会に参加し新たな可能性を広げてみませんか？

同窓会



K.G. Welcome Party

首都圏でも広がる
K.G. ネットワーク



Kwansei Gakuin Youth Reunion

卒業後も、
もっと繋がる関西学院へ



ファミリーイベント

子供と一緒に
母校と関わる



KG MID パーティ

ビジネスも趣味も深まる、
大人のためのコミュニティ



アラ KWAN 同窓の集い

人生100年時代、
退職後の人生もより豊かに、
より華やかに

対象 首都圏で働く20代
毎年6月の第2週土曜日に若手同窓向けの懇親会を開催し、例年50名前後の新社会人を含む約130名の若手同窓生が参加しています。大学卒業と同時に関東に勤務する同窓が増える中、慣れない土地での生活の悩みを先輩同窓がアドバイスするなど、新社会人となる皆さんにエールを送っています！



過去の様子は
こちら

対象 20〜30代
2017年の福岡開催を皮切りに、大阪、名古屋、東京、岡山と全国で開催してきました。新たな出逢いやビジネスなど目的は様々です。次世代を担うKG卒業生へ、卒業後も広がるKGネットワークづくりを応援しています！同窓会活動へ参加する最初の一步としてお気軽にご参加ください。



HP

対象 子育て世代
子供と一緒に、参加できるイベントを企画・運営しています。過去には、プログラミング体験・宇宙服作り体験など現役の大学生に協力してもらいながらイベントを開催しました。同窓生と現役生が交流する時間を設ける事により、現役生の成長を促す機会でもありますので、是非ご参加ください。



過去の様子は
こちら

対象 35〜55歳
毎年3月頃に大阪で開催しています。参加者同士の交流を促進する為に様々なテーマに分けた交流セッションを準備して参加者が楽しめる企画を用意しています。ビジネスの幅を広げたい、共通の趣味仲間を見つけたい、趣味を広げたい方におすすめてですので、是非お気軽にご参加ください。



過去の様子は
こちら

対象 50〜60代
毎年2月に企画委員会主催で「人生100年時代、退職後の人生もより豊かに、より華やかに過ごすため」を題目として懇親会を開催しています。1回目に桂米團治氏（1981大文）、2回目は楠淳生氏（1981大経）、3回目は瀧川一紀氏（2000大法）をゲストに招き、見聞を広めながら親睦を深めています。今後も、お住まいの地域や職種、ゼミクラブなどのつながり以外にも、同年代の同窓で集える会を設けていきたいと考えています。ぜひ下記からアラKWANの公式LINEをご登録ください。



LINE

「関西学院同窓会」 公式アカウント

イベント情報を
各SNSにて発信中！

ぜひフォローしてください！



YouTube



X
(旧Twitter)



Instagram



Facebook

加古川支部の新たな試み | TOPICS

『縁』を大切に！ 後輩達の拠り所を 創設するぞ！！

『Crescent Link in 加古川』

加古川支部 事務局
北村 亮太

2024年11月23日に開催した加古川支部総会にて亀岡会長から「加古川支部を盛り上げよう！」との熱い想いを拝聴しました。かねてより、同郷の方や同窓生とのつながりを大切にしていきたいという想いがあったため、これを機に『縁』を大切に活動していくことをモットーとした集団『Crescent Link in 加古川』を創設し、後輩達の拠り所となる組織を始動する運びとなりました。仕事や私生活において「別の切り口からのアプローチはないか？」「専門的な人に相談したいけど誰かいかな？」など有益な相談ができる人脈は必ず必要となってきます。

そこで、加古川支部の取り組みとして日頃から交流のある近隣支部にもよびかけ、この集団づくりに尽力します。第1回目は2025年6月に加古川市内で、兵庫県西部の在住者、在勤者及び出身者を中心としたメンバーによる立ち上げ会合を開催します。この活動が各支部へ良い影響を与えていく渦の中心になれるような活動に育てていくことを願い、汗してまいります。



Crescent Link in 加古川 参加者募集中

第1回目の開催は、様々な業種の卒業生による「今後の支部活動における可能性方向性の検討」及びそれぞれの「人脈拡大による自己実現」を目的とし、フランクな意見交換を行うことのできる場を提供いたします。"Mastery for Service"の実践に向け、一緒に奮闘していきましょう！

第1回会合の詳細及び参加希望等は以下のQRコードから申込の受付をいたしますので、お誘い合わせのうえご参加ください。

なお、先着順になりますので、お早めのお申込みをお勧めいたします。



申込フォーム

日時	2025年6月29日(日)14:00〜16:00
場所	東播磨生活創造センター かこむ 講座研修室 加古川市加古川町寺家町天神木97-1 (加古川総合庁舎内)
参加費	無料(先着50名)

今こそ27万人の同窓生の力で 強固な同窓会を

卒業してから私たちの心に深く根付いている「Mastery for Service」の精神。そんな精神の下私たちは同じ関西学院の同窓会につながっているのです。そしてそのつながりは人生においてかけがえのないものになるはず。人生の中で一人ひとりが自己研さんを積み、同士と学び合い、先輩を支援していく。そんな積み重ねが、やがて大きな力となり、関西学院の発展につながってきます。大学を取り巻く環境が大きく変化していく今こそ、関西学院をより強く、より輝かしい未来へ導くために、力を合わせて強固な同窓会を築いていきましょう。

白熱した戦いを振り返る



11月4日 VS 同志社大学

第34回関西ラクロスリーグ戦ファイナル3決勝
@ヤンマーフィールド長居

全日本大会出場を賭けた1戦。「ここから先は、負けたら引退。絶対に勝利をつかまなければならなかった」。同大には、開幕戦で勝利を取っているが、油断はできないライバル校。今まで以上に緊張が走っていた。前半は関学ペースの試合展開となり、一気にリード。相手も反撃を試みるが、その差は縮まることなく、9-6で見事白星をつかむ。関学は3年連続となる関西女王に君臨した。



11月17日 VS 岡山大学

ラクロス全日本大学選手権大会第1戦
@広島広域公園第二球技場

ついに始まった全日本大会1戦目。「また新たなスタートだと、もう一度気持ちを入れ替えて挑むように伝えていた」。開始直後から流れを掌握した関学。アウェイでの試合であることを感じさせないプレーで、相手を圧倒した。次々と得点を量産し、岡大を突き放す。結果は、13-1と大きく点差をつけての勝利。関学の強さを証明する試合となった。



12月1日 VS 明治大学

ラクロス全日本大学選手権大会準決勝
@たけびしスタジアム京都

勝利の女神が舞い降りた。倉本は「人生で1番思い出に残る試合になった」と振り返る。先制点を決め、順調に試合が続くと思われた。しかし、終了4分前に同点に追いつかれ、延長戦へと突入。一進一退の攻防戦が繰り返された。延長戦3回目残り数秒、MF堀之内(総政3)がシュートを決める。そのまま8-7で、試合終了の合図。まさに劇的な勝利だった。



12月15日 VS 早稲田大学

ラクロス全日本大学選手権大会決勝
@スパークスえどりくフィールド

迎えた運命の決勝戦。会場には、駆けつけた多くの応援の姿があった。AT林(経4)が先制するも、相手の得点により、試合はすぐに振り出しに。第2クォーターでは、関学が流れをつかみリードする。しかし、後半に失点を許し5-8で試合は終了。「やっぱり見えない強さがあったのだと思う。悔しいが、やってきたことに対する後悔はない」と倉本は振り返った。



DF倉本莉子(社4)率いるラクロス部女子は、全日本大学選手権大会に出場。日本一には届かなかったが、夢は後輩たちへと託された。仲間とともに戦った熱い試合を振り返る。

全力で駆け抜けた4年間。ラクロス部女子は、全日本大学選手権大会決勝戦に出場し、早大と対戦した。最後まで諦めることなく戦ったが、5-8で試合終了の合図が鳴り響く。日本一まであと一歩、届かなかった。「決してこのチームが悪かったわけではない。やってきたことに間違いは一つもないと思う」。こぼれ落ちた涙がこれまでの努力を証明していた。

今年度は、リーグ戦を無敗で終える圧倒的な強さを発揮。しかし、誰一人として満足することはなかった。スローガンに掲げていた「Never Enough」の文字通り、常に向上心を持ち練習に励む毎日。自主練の目標回数も、食事制限も徹底していた。「全ては日本一になるため。数年間超えられなかった壁を超えて、後輩たちの指標になってあげたかった」と倉本は振り返る。一つひとつの目標にも、これからの部活を担う後輩たちへの思いが込められていた。

大学1年生のときに、ルールも知らずに飛び込んだラクロスの世界。部員の半数以上が初心者の中で、入部した日から日本一を目指し練習に励む。「みんな熱い思いを持っていた。同じ志を持った仲間と、ともに歩んだ4年間。それこそが、かけがえない宝物だ。

悔しい敗北から、数ヶ月。夢は後輩たちへと託された。「必ず日本一になると信じている。誇りを持って戦い続けてほしい」。関学ラクロス部女子はきょうも、一つの目標に向かって歩み続けている。

「Never Enough」

今年度のスローガンには、日本一になるその日まで、常に満足せず、向上心を持ち続けるという思いが込められている。関西リーグ戦を無敗で終え、ファイナル決勝戦では同大を下し、3連覇に輝く偉業を成し遂げた今季。どれだけ勝利を重ねても、さらに上を目指し、挑戦し続けた。

ラクロス部とは

ラクロス部女子は1989年に創部。2003年には体育会に昇格した。同好会時を含め、6度の全国制覇を誇る。今年度は、倉本が主将を務め、チームを率いた。

今年度の主な戦績	7/28	第1戦	VS 近大	21-0
	8/12	第2戦	VS 同大	9-5
	9/14	第3戦	VS 関大	16-9
	9/21	第4戦	VS 武庫女大	16-3
	9/23	第5戦	VS 京大	15-6
	10/19	第6戦	VS 立大	9-7
	11/4	決勝	VS 同大	9-6

KG ATHLETICS

昨秋も、関学体育会は各部がそれぞれの舞台で活躍を見せました。
中でも、輝かしい戦績を収めた9部をご紹介します。

合気道部

10/20



第55回全日本学生合気道選手権大会にて、演武競技で3組が**優勝**に輝いた。

拳法部

12/1



第69回全日本学生拳法選手権大会にて男子は全国**3位**、女子は**4位**となった。

硬式野球部

9/7~10/21



関西学生野球連盟秋季リーグ戦にて**優勝**、**春秋連覇**を決めた。

ゴルフ部

11/5~8



常陸宮杯全日本大学ゴルフ選手権に出場。
男子**3年ぶり**、女子**8年ぶり**の**全国進出**。

スケート部スピード部門

10/19.20



第97回日本学生氷上競技選手権大会ショートトラック競技にて**女子総合優勝**。

ソフトテニス部

10/5.6



関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦にて、**見事関西制覇**を成し遂げた。

フェンシング部

10/16~20



第74回関西学生フェンシング選手権大会で**女子団体フルーレ・エペ2冠**を達成。

ラクロス部男子

12/7



関西学生ラクロス新人戦ウィンターステージ決勝トーナメントにて**栄冠**を手にした。

陸上競技部

11/16



第86回関西学生対校駅伝競走大会にて**準優勝**を飾った。

◆ 関学体育会のすべてはここから ◆

〈ホームページ〉

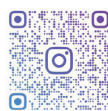
関学体育会の試合速報を通し、母校の「今」をご覧いただけます。また、過去の試合結果や主将のコメントや、企画インタビューなど、数多くのコンテンツをご用意しております。また、定期購読の詳細も掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

ホームページ▶



〈SNSアカウント〉

関学スポーツは、リアルタイムでの試合速報や、選手の号外ビラなど、様々な情報をSNSにて発信しています。ぜひフォロー & チェックのほど、よろしくお願いいたします！



▲Instagram



▲X(旧 Twitter)

◆ 関学スポーツとは ◆

私たち体育会学生本部編集部は体育会の広報機関です。体育会42部49パートの試合に出向き、取材を敢行。紙面やSNSアカウント、公式サイト等にて幅広く広報を行っています。関学スポーツは1961年(昭和36年)4月に創刊され、発刊号数は2024年11月で279号を数えます(途中休刊あり)。